



根室版
10月27日 木曜日
発行所 釧路新聞社
©釧路新聞社 2011

根室支社 / ☎0153-24-2120
中標津支社 / ☎0153-72-2201
郵便番号 〒085-8650 釧路市黒金町7の3
総務局 ☎0154-22-1111
編集制作局 ☎0154-22-1112
広告局 ☎0154-22-1113
販売局 ☎0154-22-1149
標茶支局 ☎015-485-3521
ご購入お申し込み 0120-550-946

清酒 心に参みる 銘酒 釧路の地酒
福司酒造 株式会社
フクツカサ
釧路市住吉2の13の23
☎41-3100

きょうの紙面

標津の篠田興業

居眠り運転を抑制

メモロディー ロード応用 サイレン音再現

標津町の建設会社、篠田興業(篠田静男社長)は、路面に溝を刻み一定の速度で車を走行させると曲を奏する技術「メモロディーロード」を応用し、パトカーのサイレン音をリアルに再現し、運転中の眠気を防止するシステムを考案した。篠田社長は「全国の自治体に向けて提案すること、居眠り運転抑制につながる」と話している。同社の

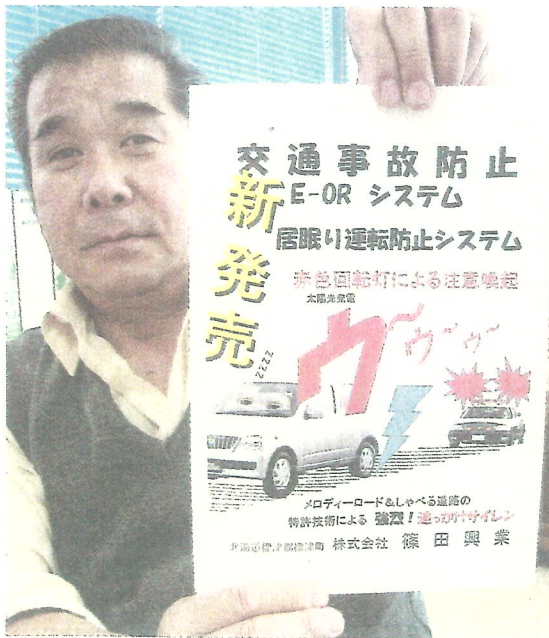
技術が交通死亡事故防止に役割を担った。このシステムは、旧道立工業試験場(現道立総合研究機構工業試験場)と共同で開発したメモロディーロードを発展させ、より複雑な音を奏せられる技術「しゃべる道路」の応用版。施工した路面にタイヤが接触することでパトカーのサイレンの擬音が数秒間鳴り、道路脇のセンサーにより

赤色回転灯が点灯する構造だ。車両の下からサイレンが聞こえるため、警察車両に追いつけられているような危機感を効果的に演出でき、目覚め効果はてきめんだという。注意看板などを含め施工費は一方所で300万~350万円で、価格はしゃべる道路の費用の半額以下に設定した。

篠田社長は「居眠り運転の

交通事故は重大事故につながる。サイレンにびつくりして眠気が覚め、車両を安全な場所に停車させて休憩に導いた」と期待を込めることも、

「基本的にメモロディーロードは交通事故防止のための技術。全国に呼び掛けて普及を目指したい」と話している。(前田大介)



居眠り運転抑制に向けた期待を込める開発者の篠田社長